

おやつ作り ムーチャー＆アガラサー

児童デイサービス石川学院



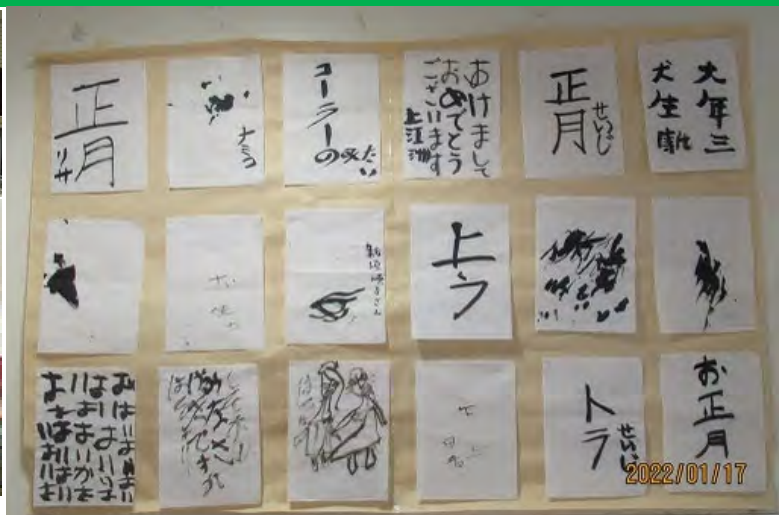
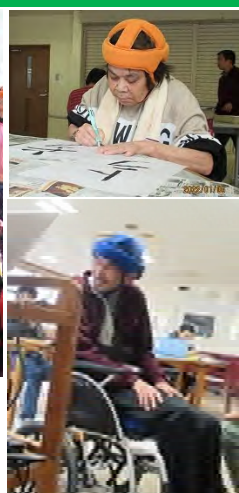
1月29日（土）に 沖縄料理のムーチャーとアガラサー作り、そしてムーチャー（鬼餅）の風習について学びました。数日前から学院構内でカーサ（月桃の葉）の探索を行い「こっちに大きいカーサ見付けた～」と採取場所の目星を付け、葉の洗浄、包む工程から調理までの一連の流れを通して、おやつ作りに取り組みました。また、調理を開始する前に鬼ムーチャーの動画を鑑賞し、発祥地、経緯（由来・ムーチャービーサー等）を学習として交えました。「こんなして出来上がるんだね！」「捏ねるの気持ちいい～」（感覚統合）や「いい匂いしてきた～」などの感想が聞かれ、一連の流れを体験した事や、事前に学習した事で興味や楽しさが増したようでした。ムーチャーのいい香りの他、黒糖風味のアガラサーも、ふっくらと蒸しあがり美味しく頂きました。保護者の皆さまへはお忙しい中、エプロン等ご準備頂きありがとうございました。（理学療法士兼児童指導員：與儀 守哲）

年末大掃除＆正月気分を味わう

地域活動支援センターみほそ



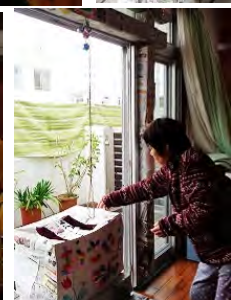
昨年末、みほそでは利用者さんと協力して大掃除を行いました。普段出来なかった外窓磨き・床の黒ずみ落とし・壁の埃払いなどを念入りに行ったお陰で、とても気持ち良く新年を迎える事が出来ました。今年の干支は寅！年明け、利用者さんに新年の抱負を記入して頂くと、健康・仕事・料理を頑張りたい等とても意欲的なものばかりでした☆創作では、正月飾りの寅・鏡餅・羽子板と一緒に作製し正月気分を味わいました。しかし、年明け早々に蔓延防止措置が実施され、再びみほそでの活動が限られてしまいました。利用者さんが安心して利用出来るよう、より一層の感染防止対策に努めて参ります。（指導員：宮平 いづみ）



生活介護センターでは、新年書初め会を行いました。皆さん真剣な表情で筆を動かし、今年の抱負や意気込みを表現され個性豊かで素敵な作品に仕上がっていました。作品はセンターホールに展示中です。今年もコロナ禍で初詣が中止となり外出できず残念でしたが、年末に開催したクリスマス&忘年会の動画や写真のスライドショーを鑑賞し、気分を盛り上げました。利用者さんのリクエストの美味しい「ハンバーガー」を食べながら、スクリーンに映し出される仲間の姿を見て、笑いが溢れる楽しい時間になりました。（生活支援員：名嘉毛 裕子）

2022年ちゅうりっぷホーム内 初詣

居住支援事業所風



コロナ禍の外出自粛で神社へお参りに行くことが出来ず、お正月の雰囲気味わうために、ホーム内に神社をみたて大きな鳥居を作製し初詣を行いました。2名の利用者さんが手作りしたお賽銭で、それぞれ賽銭箱へお供えすると「早くコロナが落ち着きますように!」「健康に過ごせますように!」等と願っていました。職員も利用者さんたちと同じ願いです。利用者の皆さんが健康で楽しい生活がおくれますように!今年も、どうぞよろしくお願いいたします。（世話人兼生活支援員：上間 友紀）



元旦、お正月気分が満喫できるようにと凧揚げ大会を企画しました。竹棒やストロー、ビニール等を使って凧を手作りし、利用者さんそれぞれが文字や好きな絵を描き入れ完成です。院庭へ、いよいよ凧揚げにチャレンジ！

職員が揚げ方をやってみせました。うまく揚げられるか心配でしたが、手を高くあげて走り、凧が風に乗って舞い上がりました。気持ちよさそうに青空で泳いでいる凧を見て利用者さんも感動した様子で、何度も走り出し凧揚げに挑戦する利用者さんの姿があり、思い出に残る楽しいお正月となりました。

(生活支援員：翁長 哲二)

新春ドライブ&書初め&誕生会

居住支援事業所花かご



コロナ禍で初詣は自粛し、1月2日にドライブへ出かけました。窓の外に広がる景色を眺めたり、ラジオの音楽に合わせて身体を揺らしたり、利用者さんそれぞれ、気分転換ができたようでした。翌日はホームで書初め会を行いました。思うままに筆を進めたり、職員が手添えをすると筆を動かしたり、集中して取り組んでいました。

1月30日は知花瑠衣さんの誕生会。保護者さんより☆サプライズ☆でケーキの差し入れがあり、瑠衣さんを始め他の利用者さんも、とても嬉しそうで笑顔が溢れていました。「ハッピーバースデー瑠衣さん♪」とみんなで唄い、賑やかに誕生日を祝いました。

(世話人兼生活支援主任：新里 さつき)



Happy Birthday, dear ~
瑠衣さん♪

作業風景&インタビュー

就労支援事業所こみこみ



花と笑顔あふれるこみこみへ。
“元気に育て”と思いを込め毎日水かけ頑張ってます。

Q：この作業はどのように考えてしていますか？

我謝弘文さん：「きれいに咲いてほしい。」「水かけ作業は楽しい。」

一本一本丁寧にカットして、綺麗なイチヨウ切り出来ました。後は注文分の？kg頑張るぞー！

Q：どの作業が楽しいですか？

伊佐京子さん：「いちよう切り楽しい。」「私が切ったのをみんながきれいに食べていたら嬉しい。」



こみこみ車輛ステッカー

就労移行支援を利用中の伊波和さんがパソコンを駆使し、デザインを作成しました。素敵な看板をありがとうございます。



社会福祉法人 起産石川

〒904-1101

うるま市石川東山本町1-20-1

障がい者支援施設石川学院

児童デイサービス石川学院

Tel:098-964-2286 Fax:098-965-6004

生活介護センター石川学院

Tel:098-964-2239 Fax:098-965-6004

〒904-1101

うるま市石川東山本町2-12-15

就労支援事業所 こみこみ

(就労移行支援・就労継続支援B型)

Tel:098-963-0073 Fax:098-963-0074

作業棟(石川学院敷地内)

Tel:098-963-0305 Fax:098-963-0306

居住支援事業所 花かご

ふきのとうホーム・のぼたんホーム1F/2F

居住支援事業所 風

かぐや姫ホーム・ちゅうりっぷホーム

居住支援事業所 きさん

ぽこ・あ・ぽこホーム

〒904-1101

うるま市石川東山本町2-12-15

相談支援センター石川学院

※強度行動障害支援者養成研修及び、精神障害者の地域移行関係職員に対する研修を修了した、相談支援専門員を配置しています。

Tel:098-964-2445 Fax:098-964-2446

〒904-1101

うるま市石川東山本町1-20-2

ロジャーズ館 3F

社会福祉法人 起産石川 事務局

Tel:098-964-2286 Fax:098-964-5055

〒904-1106

うるま市石川2-2-1 108号

地域活動支援センターみほそ

Tel:098-989-8146

Fax:098-989-8147

Mail: mihoso@otc.ne.jp

発行日:令和4年2月15日発行

発行責任者:理事長 太 直美

編集担当者:事務局長 大嶺 徳子

facebook



<https://kisanishikawa.jp/>



職員インタビューNo.68

障がい者支援施設石川学院

生活支援員 上江洲 弘樹

Q1:入職の経緯と仕事の魅力を教えてください:

知人が障がい者施設で勤務をしていて、話を聞いているうちに興味を持った事が入職のきっかけです。利用者さんの新しい一面が見れた時の喜びや新鮮さ、そして自分自身が成長できるところが、この仕事の魅力だと感じています。

Q2:モットーは?: 「毎日元気で笑顔に」です。

Q3:利用者さんとの思い出は?:

利用者さんとの1泊2日の県内プチ旅行です。利用者さん2人と職員2名で恩納村のホテルに泊まりました。昼は海水浴・夜には花火をしたりなど、少し夜更かし(笑)をして、一緒に自由に過ごせた事が今でも一番の思い出として残っています。

Q4:趣味・はまってることは?: 特にありません。

Q5:今後の目標は?:

利用者さんや、職員から信頼されるような人間になりたいです。

Q6:バトンはどこへ?:

入所の金城健介さん。
いつもやさしく丁寧な対応をされる、入所で一番若い支援員です。



速度制限標識の設置について

社会福祉法人起産石川

危機管理委員会の提案により、法人の敷地内に速度制限標識(15キロ)を設置しました。院内でも安全運転のご協力をお願い致します。



日本知的障害者福祉協会表彰状



石川学院の開所1年半後の頃から職員として関わらせて頂きました。その間、障がい者福祉を取り巻く環境は大きく変わって来ました。学院での勤続20年は長くもあり、また短くも感じられます。今後法人の事業は次の世代へ向けて歩み続ける中で、この期間を支えた1人としての証として日本知的障害者福祉協会から表彰され嬉しく思います。

障がい者支援施設 石川学院
施設長 小橋川 昭

◎リモート面会は引き続き実施いたします。ご希望される方は日程調整等がございますので、事前に下記までご連絡下さい。

入所施設 副管理者 玉城一吉 098-964-2286